

***厚生労働省**

児童虐待相談対応件数等及び児童虐待等要保護事例の検証結果（第6次報告概要）

～平成21年度中の児童虐待相談件数、過去最多の44,210件（速報値）～（7月28日）

平成21年度中に、全国201か所（注）の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は44,210件（速報値）で、これまでで最多の件数。前年度の42,664件から1,546件の増加となっている。

（注）児童相談所は平成22年5月6日現在で205か所となった。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000g6nl.html>

（添付資料）

・児童相談所における児童虐待相談対応件数

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000g6nl-att/2r985200000g6pb.pdf>

・平成21年度に実施された出頭要求等について

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000g6nl-att/2r985200000g7mp.pdf>

・子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について

対象は平成20年4月1日から平成21年3月31日までの事例。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000g6nl-att/2r985200000g7mx.pdf>

・児童虐待防止対策の推進について

各都道府県・指定都市及び児童相談所設置市に、児童虐待対策等の徹底を要請する通知

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000g6nl-att/2r985200000g7n5.pdf>

***警察庁**

犯罪統計資料（平成22年1月～6月）（7月16日）

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001027211&cycocode=0>

***読売新聞**

特集 性暴力を問う～被害者たちの叫び

・第3部 奪われた笑顔 読者の反響<上>手紙など105件 被害告白や共感（7月6日）

・第3部 奪われた笑顔 読者の反響<下>男性も被害 驚き、励まし（7月7日）

宝塚放火、中3長女「虐待」児相へ通告せず（7月14日）

<http://osaka.yomiuri.co.jp/news/20100714-0Y01T00228.htm>

児童ポルノ強制遮断「プロッキング」導入を決定（7月28日）

インターネット上の児童ポルノ対策で、政府の犯罪対策閣僚会議は27日、違法画像の発見後、サイト管理者などの削除を待たずに強制遮断する「プロッキング」を導入することを決めた。

虐待で死亡の子供 6割の39人が0歳児（7月28日）

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20100728-0YT1T00626.htm>

いじめ対策

(1)「いい雰囲気作り」へ努力(7月16日)

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20100716-0YT8T00266.htm>

(2)親の「知る権利」確立訴え(7月17日)

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20100717-0YT8T00213.htm>

(3)悲劇の背景 徹底検証(7月21日)

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20100717-0YT8T00213.htm>

(4)子ども同士「声かけ活動」(7月22日)

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20100722-0YT8T00227.htm>

(5)携帯世代がネット監視(7月23日)

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20100723-0YT8T00222.htm>

(6)専任教師 細かく目配り(7月24日)

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20100724-0YT8T00264.htm>

宝塚市が「子どもシェルター」開設へ...24時間受け入れ(7月16日)

兵庫県宝塚市は、児童虐待や親の育児放棄などで家庭に居場所を失った子どもたちを24時間受け入れる一時保護施設「子どもシェルター」を開設する方針を決めた。心理カウンセラーら専門家が常駐して相談に応じるほか、児童・生徒らが緊急避難できる宿泊施設も併設する。24時間対応の保護施設は全国の自治体で初めてといい、市は「逃げ場のない子どものための駆け込み寺にしたい」としている。

<http://osaka.yomiuri.co.jp/news/20100716-0Y01T00756.htm>

*毎日新聞

新教育の森：自殺を防ぐ教育、子どもには？根強い慎重論...教師向け研修は始まったが (7月3日)

<http://mainichi.jp/life/edu/news/20100703ddm013100123000c.html>

インターネット：危険、親子で対策 日本「世界で最も放任」 相談できる環境、大切 (7月20日)

日本の保護者はインターネット上の子どもを世界で最もほったらかしにしている--。こんな調査結果がある。欧米では「子どものネット利用は親が管理すべきだ」として、ルールを決めている家庭が多いという。ケータイだけでなく、パソコンもネットトラブルのもとになり、子どもがサイバー犯罪に巻き込まれたり、悪質サイトにさらされるケースが増えている。 <http://mainichi.jp/life/edu/news/20100720ddm013100111000c.html>

6月29日の記事から)

障がい者制度改革推進会議：個人の機能より社会のバリア 政府、障害の定義を転換 (6月29日)

障害者を福祉の対象でなく権利の主体とする理念に基づき、障害の定義を転換。身体、知的、精神の個人の心身機能に注目した従来の「医学モデル」の定義を、社会参加を妨げる社会の側の問題からとらえ直し、制度の谷間を生まない仕組みを目指す。

<http://mainichi.jp/universalon/clipping/archive/news/2010/06/29/20100629ddf007010023000c.html>

社説：ひきこもり70万人 国の危機と認識しよう（7月27日）

<http://mainichi.jp/select/opinion/editorial/archive/news/20100727ddm005070127000c.html>

児童虐待：過去最多4万4210件 強制立ち入り1件 - 09年度（7月28日）

09年度に全都道府県、政令市、中核市の児童相談所（児相）が対応した児童虐待の相談件数は4万4210件（速報値）で前年より1546件増え、過去最多を更新したことが28日、厚生労働省の調べで分かった。90年度の統計開始から19年で40倍超になった。厚労省は「社会的な関心が高まって、軽微な事案が掘り起こされている一方、深刻な虐待も増えている」とみている。

<http://mainichi.jp/select/wadai/news/20100728dde001040031000c.html>

***産経新聞**

米マカフィー、「親の知らない子供のオンライン生活」レポート（7月1日）

米マカフィーは、ティーンエイジャーのオンライン利用動向を調査した「親の知らない子供のオンライン生活」を発表した。

調査は、米国内に住む13-15歳593人と16-17歳362人の合計955人を対象に、2010年5月4-17日まで、オンラインで実施した。

<http://www.yomiuri.co.jp/net/news/bcn/20100701-0YT8T00565.htm>

いじめ再生産現象「した」「された」双方9割 文科省調査（7月4日）

小学校4年から中学3年までに、「いじめられたことがある」という子供と、「いじめたことがある」という子供がそれぞれ9割に上ったことが3日、文部科学省の国立教育政策研究所の調査で分かった。専門家は「いじめられた子が、いじめられないように、いじめる側に回る“いじめの再生産”現象が起きているのでは」と分析している。

<http://sankei.jp.msn.com/life/education/100704/edc1007040111000-n1.htm>

上記記事関連）文部科学省 国立教育政策研究所

いじめ追跡調査2007～2009 いじめQ&A

国立教育政策研究所が実施してきたいじめに関する追跡調査の中から、前回公表済みの「いじめ追跡調査2004-2006 いじめQ&A」の続編にあたるもので、より最新の追跡調査の結果に基づき、いじめの実態についての理解促進を目的として作成されている。

http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/shienshi_ryou2/3.pdf

【なぜ虐待死は防げないのか】

（1）そのとき学校は 海渡君事件で起きた「ボタンのかけ違い」（7月20日）

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/100720/crm1007201806023-n1.htm>

**（2）そのとき児相は 20年間で虐待38倍、職員は2倍...「最後の砦」対応に限界
（7月21日）**

http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/100721/crm1007211804028_n1.htm

(3) そのとき病院は 判断、通告...2つの「ためらい」(7月22日)

http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/100722/crm1007221843021_n1.htm

(4) そのとき警察は 「家庭に入らず」は昔話 福祉と刑事 “呉越同舟” (7月23日)

http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/100723/crm1007231820030_n1.htm

(5) そのとき地域は 通報への「迷い」を乗り越えて(7月25日)

http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100725_00000031_san_soci

・「通報めぐり葛藤」「『児童相談署』へ格上げを」...読者の反響(7月27日)

*朝日新聞

退職教員、年1.2万人 成果主義・精神的負担など背景(7月20日)

公立の小中高校と特別支援学校で中途退職する教員が全国で毎年1万2千人を超え、この5年間では6万7千人に及ぶことが、全都道府県・指定市の教育委員会への朝日新聞の調査でわかった。こうした数字は文部科学省も把握しておらず、実数が明らかになったのは初めて。

<http://www.asahi.com/edu/news/TKY201007190458.html>

社説 障害児教育 「共に学ぶ」に近づくには(7月23日)

<http://www.asahi.com/paper/editorial20100723.html>

親権制限で3案 = 虐待防止で一時停止も 法制審(7月23日)

<http://www.asahi.com/politics/jiji/JJT201007230143.html>

性被害の相談・通報・診療を1カ所で 愛知の病院に拠点(7月25日)

<http://www.asahi.com/national/update/0724/TKY201007240497.html>

9割がいじめ経験 = 小4～中3の6年間 文科省調査(7月26日)

小学4年から中学3年までの6年間に、いじめられた経験を持つ子供は9割に上ることが、文部科学省の国立教育政策研究所の調査で26日までに分かった。同研究所は「いじめは限られた子供だけでなく、どの子にも起こりうることを受け止め、対策を立てる必要がある」と分析している。

調査対象は首都圏内のある市の小中学校全19校。2004年度に小4だった596人が09年度に中3になるまで、毎年2回調査した。

仲間外れや無視、陰口の被害を1回以上経験したことがあると答えた子供は538人で、全体の90.3%に達した。加害者としてこうした行為をしたことがあったのは88.9%。いじめに全くかわりのない子供は1割だけだった。

<http://www.asahi.com/national/jiji/JJT201007260002.html>

児童ポルノ総合対策策定へ = 接続遮断、年度内に実施 政府(7月26日)

<http://www.asahi.com/national/jiji/JJT201007260093.html>

2010 年度 No.4【最新情報コーナー】7月1日~7月31日

児童虐待、過去最多の4万4千件 09年度の児相対応分(7月28日)

<http://www.asahi.com/edu/news/TKY201007280205.html>